

(平成30年2月試験研究業務月報)

試験研究課題：新しい食べ方で消費拡大につながる伝統野菜の復活

研 究

新たなブランド品目の開発に向けて

ブランド京野菜は、他県産との競合による価格低迷などで、数年前から栽培面積が伸び悩んでおり、ブランドの牽引役となる新品目の開発が必要になっています。

その新品目として、電子レンジ調理などの新しい食べ方が提案でき、消費拡大につながるものを想定しています。

本年度は、予備試験として、調理が比較的簡単で府内の主要品目である花菜に着目し、遺伝資源として保存しているツケナ類[※]やカブの中から、蕾が甘くて美味しく、花菜に適したものを選定しています。来年度からは、本格的に調査を進め、食味や収量性が優れたものに絞り込んでいきます。

※ ツケナ類：ナタネやミブナなどのアブラナ科葉菜類の総称



21種類のツケナ類、カブを栽培し比較中